

日本学術会議主催学術フォーラム 「こころの健康社会の創造に向けて」(予定)

- 1 主催 日本学術会議 (脳と意識分科会、脳とこころ分科会、神経科学分科会)
- 2 後援 日本脳科学関連学会連合
- 3 日時 2013年9月7日(土)
- 4 場所 東京大学医学部教育研究棟 14階鉄門記念講堂
- 5 分科会等 開催予定

6 開催趣旨

昨年の夏に脳科学関連の19の学会をとりまとめる組織として脳科学関連学会連合が設立され、生物系・医学系の脳科学関連学術団体が力を合わせて様々な学術に関連した課題に取り組んでいくための体制が整備されつつあります。一方、米国では、オバマ政権がヒトの脳機能の全容解明に向け、向こう10年間の政府と民間による共同研究プロジェクトを計画すると、1月18日付けのニューヨークタイムズ紙に報道されたばかりでもありません。一般教書にも、「脳科学研究に、60年代の宇宙研究競争に匹敵する高度な研究開発のため資金投入がなされるべき」との記載があります。また、欧州ではEU Flagship Projectの2つのうちの一つにHuman Brain Projectが、今年採択され、今後15年間に100億ユーロの研究予算が投入されます。このような状況を踏まえ、フォーラムでは我が国におけるこれからの脳科学研究のあり方について、さまざまな分野の脳科学研究者とともに、一般市民もまじえて議論を深めたいと考えます。

7 次第(予定を含む。)

- 1) 趣旨説明
- 2) 脳科学研究の現在と将来；研究政策の立場から
- 3) 「脳とこころ」の解明
- 4) 革新的な脳計測・解析技術
- 5) 精神・神経疾患の診断・治療・予防
- 6) 社会・教育問題への貢献
- 7) パネルディスカッション

コーディネーター 大隅典子 (第二部会員 東北大学大学院医学系研究科教授)
パネラー 5名程度